

アイホール

伊丹市伊丹2-4-1
TEL: 0727-82-2000

●アイホール演劇ファクトリー
第4期生【出荷】公演
「険の街、君の稜線」

アイホールで開講している演劇ファクトリーも今年で4年目を迎えます。第一線で活躍する演劇人達を講師に迎え、演技だけでなく照明・音響・美術などトータルに演劇を学び、1年間の集大成として卒業公演を実施します。

3月2日(金) 19:30
3日(土) 14:00/19:30
4日(日) 14:00

一般1500円(1800円)
中高生1000円(要学生証)



前回公演より

●井手茂太ダンスワークショップ&パフォーマンス

今年からはイデビアンクルー主宰・井手茂太氏のナビゲートのもと、計20回のワークショップを通して、様々なキ



イデビアン・クルー公演 井手茂太 (写真前列右)

ラストホール

伊丹市南野2-3-25
TEL: 0727-81-8877

●須磨張り子展

和紙のしなやかさと強さを生かした日本の伝統工芸、張り子。神戸須磨で創作を続ける吉岡武徳さんの干支、雛、招き猫、ふくろう等やさしさと温かみのある創作張り子の世界をお楽しみ下さい。

1月13日(土)~21日(日)
9:00~21:00 (日曜日は17:00まで)
入場無料

1F エントランスホール

※張り子の絵付け講習会

1月13日(土)・21日(日)
14:00~16:00 材料費必要



キャラクターを持つ参加者から動きを引き出し、作品を創り上げます。

3月17日(土)・18日(日)

●AI・HALL 中学高校演劇フェスティバル2001

今年で6年目となる市内中学4校と高校4校が参加する演劇の祭典。

3月30日(金)・31日(土)



前回公演より

●提携公演
青年団「さよならだけが人生か」

作・演出/平田オリザ

92年初演の、劇団の出世作となった伝説の舞台。雨が降り続く工事現場に、折り悪く遺跡が発見され、なかなか工事が進まない。人々がだらだらと集まる飯場に、ユーモラスな会話がいつ果てるともなく繰り広げられる。青年団史上最もくだらない人情喜劇。8年ぶりに待望の再演です。

1月12日(金) 19:30
13日(土) 15:00/19:00
14日(日) 15:00

一般3000円(3500円)

学生2500円 高校生以下2000円

※学生チケットは一般チケットの後の入場



●つくって遊房

「フォトスタンドの時計作り」大人も子どももみんなでものづくりを楽しめる工房「つくって遊房」。今回は、大切な思い出を飾れるフォトスタンドの時計を作ります。指導は、手づくりおもちゃ作家の青木宏子さんです。

1月27日(土) 13:30~15:30
700円(別途、材料費1800円程度必要)
定員20名 1F学習室

いたみホール

伊丹市宮ノ前1-1-3
TEL. 0727-78-8788

●ITAMI HALL B1LIVE 2001

いたみホール地下1階多目的ホール。アンダーグラウンド香るこの場所が、ライブハウスに変身! 阪神間を中心に活動中のアマチュア10バンドが、ドキドキするような熱気とビートをお届けします。明

私・空・感 another time another place

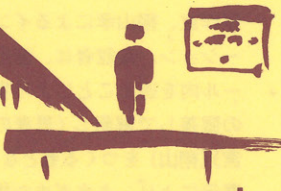
「伊丹駅のミステリー」

岩崎正裕 (劇作家・演出家/199Q太陽族主宰)

十年近く川西に勤めていた。帰りに伊丹で降り、アイホールで何本もの芝居に出会い、創ったりもした。

夜更けに、JR伊丹駅のホームに立っていると「あ、反対方向から電車が来た」といつも思うのだ。べつに毎度の如く酔っぱらっているわけではない。大阪方面に帰る僕は、当然、宝塚方面からやってくる電車に乗るのだが、それがどうも逆方面からきた電車に乗ってしまったような気がするのだ。「いったいこの列車はどこに向かうのだろう」。ふと通り過ぎる駅の名前を確認し損ねて、なんだか車窓の風景までが、僕が生まれ育った鈴鹿の町から四日市へ向かう景色と重なって見えてくる。

自分にとってだけのミステリーは、よくよく考えてみれば簡単なことだった。川西と伊丹では、線路に対しての改札口の向きが逆なのだ。川西に通動することが自分の感覚の基準になっていた僕は、伊丹からホームに降りる場合、単なる方向オンチになってしまうだけだったのだ。ああ、答えに気付いてしまったらもうあの感覚は味わえないのだろうか。いやいや、意識的に嘘を作り出す。それが我々演劇にかかわるものの務めなのだ。



日のスターに会えるかも?
出演バンド

13日 WATER、デルタスポット、SHAKE HANDS、ムンク、id
14日 てっちり☆あすなるシャンシャイン、極音、梅☆、The Thing Called Love、コビーズ

1月13日(土) 15:00
14日(日) 13:00

1日券1000円
※時間が多少変更になる場合があります。ご了承ください。

伊丹アイフォニックホール

伊丹市宮ノ前1-3-30
TEL: 0727-80-2110

アイテム'01 vol.14 (通巻17号)

2001年1月1日発行
発行●(財)伊丹市文化振興財団
〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
TEL 0727-78-8788 FAX 0727-78-8585
編集●アイテム編集委員会
デザイン●AIRS
次号アイテムVOL.15は2001年春発行予定。

item (財)伊丹市文化振興財団

いたみホール*
アイホール
ラストホール
伊丹アイフォニックホール

アイテム'01 vol.14

文化情報紙

2001年新春イベント情報

21世紀、あけましておめでとうございます。まだまだ寒い日が続きますが、市内の各ホールでは市民参加のイベントや心暖まる音楽など、盛り沢山の内容です。寒いときには暖かいホールでほっこりしてみませんか。

伊丹市制施行60周年記念事業
先人顕彰劇第10作
いな の 笹原-行基と猪名部の人たち-

いたみホール

郷土伊丹の史実・史話をもとに、市民が総合プロデュースする市民参加型の手作り芝居、先人顕彰劇。記念すべき第10作目は、行基の教えを広げた弟子たちと猪名部の人々の心の交流を描きます。当時、仏教が僧尼令により国家の統制化の中で、自ら民衆の中に入って布教と社会事業を進めた行基とその弟子達。そして、彼らを支持し、社会事業推進の大きな力となったのが、伊丹の木工集団・猪名部一族です。灌漑用水用である昆陽池の造池、医療・福祉施設である布施院や、身寄りのない老人や孤児のための収容施設「惇徳田」の建設を進める中で、多くの民衆から「行基菩薩」として崇められ、やがて聖武天皇から東大寺着工の要請を受けるに至った流れを、猪名部一族の若者達の目を通して鮮やかに映し出します。

3月17日(土) 18:30
18日(日) 14:00
一般2000円(2500円)
高校生以下1500円(2000円)
※全席自由



第9作「ひげ郷町のひげ医者 原老柳」より

伊丹市制施行60周年記念事業
第15回伊丹市民オペラ
G. ヴェルディ「椿姫」
(全三幕・日本語、一部原語)

いたみホール

今年ではや15回を迎える伊丹市民オペラ。演目はヴェルディの傑作「椿姫」です。バリ裏社交界の花形ヴィオレッタが、アルフレードとの出会いによって真実の愛に目覚める。しかし、愛し合う二人の間には障害が立ちほだかり...そんな感涙誘う悲恋物語は、観る者にさえ「人を愛すること」の真価を問いかけることでしょう。今回も管弦楽はお馴染みの伊丹シティフィルハーモニー、合唱は伊丹市民オペラ合唱団が担当します。また、裏方では学生スタッフが活躍。プロ・アマチュア共演の手作りオペラ。心にしみ入るやさしいオペラ。幕が下りる瞬間、あなたも伊丹市民オペラの創造者となり得ます。華やかな舞台、うっとりするようなメロディ、日常からの開放ともいえる劇的なストーリー...。そんな中にゆったりと身を委ね、心に栄養をあげてみませんか。

指揮: 伊藤完二
演出: 桂直久
管弦楽: 伊丹シティフィルハーモニー
3月25日(日) 14:00
一般3500円(4000円) 学生2500円(3000円)
お問い合わせ: 伊丹アイフォニックホール
☎0727-80-2110
※全席自由
※未就学のお子様は親子室にてご観覧ください。(要事前予約・先着順)



第14回伊丹市民オペラ「魔笛」より



写真左から、渡辺けんぞう (Bass)・木村充揮 (Vo.Guit)・正木五郎 (Dr)・河内博 (Guit)

CUM' CUM' サタデーナイト ライブ

ラストホール

日本が誇る、関西発ブルースバンド、「憂歌団」。そのボーカリスト、「天使のダミ声」をもつ木村充揮がジャンルにこだわらず、自分たちのサウンドを追求するため2年ほど前からイメージしていたバンド「CUM' CUM'」がついに結成された。20年以上ブルースを歌ってきた男、木村充揮に加え、ブルースとロックンロールの野生味たっぷり、ノケゾリ悶絶ギターの内河博、1970年代より関西ブルース・シーンを担ってきたバンド「サウス・トゥ・サウス」を支えるファンキー・ドラムで上田正樹や近藤房之助のバックも務める正木五郎、歌を根底からバックアップするベースで絶大な評価を得て、木村充揮のJAZZユニットで活躍している渡辺けんぞう、と最強のメンバーが集結。ゴキゲンなファンキー・チューンからロックやレゲエ、そして真骨頂のブルースまで、みんなひっくり返して、日本という土壌に相応しい形に見事にアレンジされた音楽がギッシリ。アメリカのロック・バンドをも彷彿とさせる大きくゆったりとウネリ、まろやかに巻きこむようなグルーブ、そしてそのビートに吹き込まれたブルースは、人生のあれこれを体験してきた果てに到達するズブとい楽観性、生きる自信や明日を生きる元気さえも与えてくれる。誰をも包み込む温かい音楽。幸せな人も、さびしい人もホットと安らげる、そんなハッピーな時間へ、カム・カム・エブリバディ。
3月10日(土) 18:00 ※全席自由
一般2500円(3000円)
高校生以下・60歳以上2000円(2500円)

スターダストレビュー コンサート

いたみホール

NEWアルバム「Moody Blues」ではしっかりと大人のバラードを中心に、新たな方向性を示してくれたスタ☆レビ。遊び心あふれる楽曲づくりに定評のある彼らですが、バンドとしての本領はなんといってもライブ! 巧みなトークと演奏、コントまでこなす彼らのステージは、エンターテインメントの楽しさが十分に詰まっています。
3月7日(水)18:30
全席指定 5775円



新春狂言会

ラスタホール



21世紀の幕開けです。和やかに笑顔で迎えましょう。大蔵流狂言善竹会の協力により、新春狂言会を開催します。狂言は古典芸能の中でも比較的わかりやすく、独特のおかしみを表現する笑いの芸能です。夏に行ったワークショップでは親子参加も多く見られ、大人も子どもも時に真剣に、時に恥ずかしそうに大いに「笑い」を楽しんでいただきました。その時の「狂言をきちんと見てみたい」というリクエストにもお答えして、狂言二番をお届けします。演目は、茶

※文中の料金は、前売料金。()内は当日料金です。

いたみ寄席 桂米朝一門会

いたみホール

落語というものが一芸として世に出たのは、今から300年前、江戸時代中期と言われています。とくに上方落語は、辻で道行く人たちに断を聞かせることから始まったそうです。上方落語に「笑い」を重視した作品が多いのも、こうしたパフォーマンスの名残でしょうか。台詞だけで物語を展開し、扇子や手ぬぐいを使って表現する笑いのなんと人間くさく滑稽なことが。「上方の人間国宝」米朝と個性豊かな一門の言葉と芸の妙技、この機会に是非ともライブでお楽しみください。
出演：桂米朝、桂ざこば、桂南光、桂歌之助、桂千朝、桂出丸

を仕入れた様子をえがいた相舞いが楽しい「茶壺」と、「臍」です。
◇「茶壺」すっぱ 善竹忠一郎
中国の者 善竹隆平
目代 道下正裕
◇「臍」法印 善竹隆司
兄 上西良介
弟 善竹隆平

1月14日(日)14:00
一般2000円(2500円)
高校生以下1000円(1200円)
※全席自由

第5回ラスタ生涯学習 フェスティバル

ラスタホール

ラスタで活動する同好会のフェスティバルとして、展示会・ステージ発表会を行います。今回で5回目を迎えるこのフェスティバルは、同好会員の方々からも「楽しい思い出になった」と大変好評で、フェスティバルに向けて日々練習に励んでおられます。展示会では体

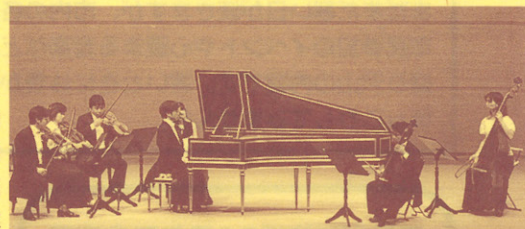


1月20日(土)18:30
1階指定席3000円(3500円)
2階自由席2500円(3000円)

いたみホールサロンコンサート テレマンの バロック音楽の夕べvol.2

いたみホール

昨年6月に第1回いたみホールサロンコンサートを開き大好評を得たコレギウム・ムジクム・テレマン。今年も、バロック音楽の魅力を存分に楽しんでいただきます。今回は楽団名にもなっているテレマンのヴィオラ協奏曲をはじめ、珍しいバロックトランペットや、ソプラノ歌手で伊丹市の市民参加の合唱団で指導もされている中村朋子さんの出演を予定。恒例の、出演者によるお話と解



説もあります。いたみホールサロンコンサートでバロックなひとときをお楽しみください。
プログラム(予定)
●A.ヴィヴァルディ「調和の靈感 Op.3 第11番 二短調 2つのヴァイオリンとチェロの為の協奏曲」●G.P.h.テレマン「ヴィオラ協奏曲 長調」●J.S.バッハ「カンタータ第51番」諸人よ、歓呼して神を迎えよ!他
出演：延原武春、中野振一郎、中村朋子、横田健徳、松本剛、姜隆光 他
演奏：コレギウム・ムジクム・テレマン
2月23日(金)19:00
一般2000円(2500円)
学生1500円(2000円)
※全席自由

SHOW CASE SELECTION

のはら工房 「コンコンとんとんポロンぼろん」

アイホール

作/芳崎洋子 演出/奥野将彰
昨年のSHOW CASEでアンケートの投票と合評会の講評により再演が決定。SHOW CASE版30分の作品を、戯曲・演出の改訂を行い、今回決定版公演として上演します。

1月20日(土)19:00
21日(日)13:00/17:00
一般2000円(2200円)
中高生1500円

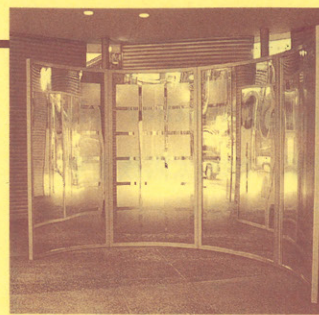


前回公演より

ロリーナ・ニクラスによる 振付家のための 構成力養成講座

アイホール

コメンテーター/ロリーナ・ニクラス
昨年に引き続き、アイホールでは、振付家のためのワークショップを開催します。短いダンス作品を5つ上演した後、振付家自身が自分の作品について語ります。「構成」



いたみホール美術企画 vol.3

とちやまたかし 栩山孝展

いたみホール

いたみホールの共有空間をアートのある「知的遊歩道」にかえる企画。今回は、伊丹市にゆかりのある造形作家、栩山孝によるインスタレーション。来館者は、変化したホール内を巡ることにより自分自身の眼差して解釈し《思考の中の迷宮》(栩山)をつくる者となります。展示により、さまざまな視覚、聴覚そして時間を体験しその間を自由に旅することができます。

3月上旬いたみホール館内にて
※詳細についてはホールまでお問合せ下さい。後日案内を送付致します。

という観点から「振付」・「ダンス」というものを徹底的に考察する4日間です。
1月25日(木)~28日(日)
一般見学料1000円
(一般見学は25・28日のみ)

AI・HALLリージョナルシアター 飛ぶ劇場 「ジエンドオブエイジア」

アイホール



作・演出/泊篤志
第3回日本劇作家協会新人戯曲賞受賞、99年岸田戯曲賞最終候補の注目の劇作家・泊篤志率いる飛ぶ劇場が代表作と共に関西初登場。この作品は、泊自身のヒマラヤ体験を元に書き下ろした作品です。世紀末から新世紀に向け、辺境アジアのヒマラヤからもう一方の辺境

アイフォニック・
ワークショップNO.14

『新年 香あそび』

伊丹アイフォニックホール

<実演・指導>西際好誉(泉山御流綱所鳥休庵法印)他
飛鳥時代から続く唯一の香りの芸術、香道。優雅な手前作法や、使われている呼称には、さまざまな古典の機知が感じられます。季節に応じた組香の香りを楽しみ、季節感あふれる言葉でそれを表現する聞香。日本の風土の中で育まれた独特の世界は、実に奥深いのです。21世紀最初の年のはじめに、ゆったりとそんな日本の伝統の粋を味わう、穏やかに豊かなひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。

1月28日(日)14:00~16:00
大人1500円/小・中・高校生700円
会場/小ホール1
定員30名

1月13日(土)10:00より
電話受付開始



アジア・ニッポンを照射しようとする試みです。
2月3日(土)19:00
4日(日)14:00
一般2500円(3000円)
学生2000円(2500円)

2000年パニョレ国際振付賞 受賞作品公演

アイホール

振付家の国際的登竜門、パニョレ国際振付賞2000年受賞の2作品を連続上演します。コンテンポラリーダンスの最前線をお見逃しなく。

<ロビン・オーリン振付作品>
『Daddy, I've seen this piece six times before and I still don't know why they're hurting each other...』
(パパ、わたしはこの舞台を6回見たけど、なぜこの人たちが傷ついているのか、まだわからないわ)
今年度のパニョレ国際振付賞を受賞した南アフリカのカンパニー。ロビンの作品は、南アフリカの複雑な現実を扱いつつも、ユ

©John Hogg



アイフォニック
地球音楽シリーズNO. 75

“フォークロアの万華鏡”

伊丹アイフォニックホール

<出演>スロバキア民族アンサンブル「ジェレリアル」
どうすればこんなに軽やかに回転できるのだろう。どうすれば手と足だけでこんなに自由に豊かな表情を作ることができるのだろう。そんな疑問があとからあとからわき上がってくる。それが彼らの踊りの印象です。手拍子、足拍子、実に器用に複雑なステップを踏みながら、一列に並んだり輪になったり、手をつないだり離れたりと、息つくまもなくめまぐるしく変化していきます。それでいて踊っている彼らの表情はいつも楽しそうな笑顔で満ちているのです。色鮮やかな民族衣装に身を包み、ちょっとしたユーモアも決して忘れてはいません。見ているだけで楽しく華やいだ気分になってきます。今回アイフォニックホールに登場するのは、スロバキアを代表する民族アンサンブル「ジェレリアル」です。スロバキアで一番古くからフォークロアの学校を設け、一貫した民族芸術教育を行っているこの舞踊団は、国内のコンクールでの最多金賞受賞を誇ります。1993年に主権国家として確立するまでの間、交易路として多くの民族が行き交い、また度重なる

一モア溢れるエンタテインメント性の高いものとなっています。
2月15日(木)19:30
<白井剛振付作品>
『Living Room—砂の部屋—』
『タイムニットセーター』
白井剛・粟津裕介が中心となって結成された発条ト(ばねと)。「舞台表現におけるライブ感覚とは?」をテーマに、映像・音楽と自らの身体を使った作品作りを続けています。
18日は白井剛によるワークショップも行われます。
2月17日(土)18:00
18日(日)14:00~17:00
ワークショップ

モア溢れるエンタテインメント性の高いものとなっています。
2月15日(木)19:30

<白井剛振付作品>
『Living Room—砂の部屋—』
『タイムニットセーター』
白井剛・粟津裕介が中心となって結成された発条ト(ばねと)。「舞台表現におけるライブ感覚とは?」をテーマに、映像・音楽と自らの身体を使った作品作りを続けています。
18日は白井剛によるワークショップも行われます。
2月17日(土)18:00
18日(日)14:00~17:00
ワークショップ



photo:Chihiro Kawamukai



他国からの支配によって苦しんだ歴史をもつスロバキア。しかしその中で自分たちの伝統文化を守り続けてきた強さと誇りが、彼らの踊りに息づいています。そんなスロバキアのエネルギーを肌で感じる絶好の機会です。是非ご来場下さい。
2月16日(金)19:00
一般3000円(3500円)
学生2000円(2500円)
※全席自由
※当公演に連動した講演があります。

アイフォニック
地球音楽シリーズNO.76

“ともしび 灯火と北極星”

伊丹アイフォニックホール



<出演>
17世紀スペイン舞曲アンサンブル「ザ・ハーブ・コンサート」
奏で、歌い、踊る—音楽の楽しみをすべて網羅した斬新なコンサートスタイルのザ・ハーブ・コンサート。17世紀頃のスペインの器楽や声楽を忠実に再現するだけでなく、イメージネーションを多に働かせながら現代に魅えらせます。舞踊と打楽器の掛け合い、ヴィオラ・ダ・ガンバの艶やかな演奏、スパニッシュ・ハーブの郷愁を誘う爪弾き、フラメンコにも通じるかのようなダンスの足さばきやコミカルでお色気たっぷりのお芝居…古楽の演奏会もここまで来たかという感です。「音楽って楽しいものなんだよ」—6人のメンバーの確かな技術に裏打ちされた、活気に満ちあふれる彼らの演奏が、雄弁にそれを物語っています。珍しい楽器群にもご注目!

3月16日(金)19:00
一般3000円(3500円)
学生2000円(2500円)
※全席自由
※当公演に連動した講演があります。